

第10回北谷町地域公共交通会議議事録

- 1 開催年月日：令和2年2月4日（火）
- 2 会議時刻：9時00分から
- 3 会議場所：北谷町役場3階庁議室
- 4 出席委員
 - (1) 神山 正勝 北谷町副町長
 - (2) 神谷 大介 琉球大学工学部環境建設工学科准教授
 - (3) 金城 守 内閣府沖縄総合事務局運輸部陸上交通課課長補佐※代理出席
 - (4) 崎濱 秀治 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室室長補佐※代理出席
 - (5) 川崎 聡 内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所副所長
 - (6) 宮里 宏和 沖縄県中部土木事務所技術総括
 - (7) 西原 靖文 沖縄県警察沖縄警察署交通対策課交通規制係長※代理出席
 - (8) 仲宗根 仁志 北谷町自治会長連絡協議会
 - (9) 徳田 伝 北谷町北前区自治会会長
 - (10) 岡村 悦子 北谷町美浜区自治会会長
 - (11) 名嘉山 敬雄 沖縄バス株式会社運輸部業務課長
 - (12) 米須 義明 北谷町商工会会長
 - (13) 東江 一成 沖縄交通事業協同組合代表理事
 - (14) 津波古 修 沖縄県ハイヤー・タクシー協会事務局長
 - (15) 屋比久 里美 北谷町観光協会会長
 - (16) 慶田 佳春 一般社団法人沖縄県バス協会専務理事
- 5 欠席委員
 - (1) 玉城 清松 北谷町老人クラブ連合会会長
 - (2) 喜屋武 悟 私鉄沖縄県労働組合連合会執行委員長
 - (3) 大城 幸和 那覇バス株式会社業務部次長
 - (4) 大岡 純士 株式会社琉球バス交通業務課主任
- 6 事務局
 - (1) 北谷町役場
 - ① 仲松 明 企画財政課長
 - ② 知念 望 企画財政課主事

(2) ランドブレイン株式会社

- ①東 満伸 沖縄事務所所長
- ②瀬戸 慎一 交通T・チーム長補佐
- ③金城 立樹 研究員

7 説明又は意見を求めるために出席した者：なし

8 傍聴人：0名

9 議題

(1) 北谷町地域公共交通網形成計画について

- ①地域公共交通網形成計画（素案）について
- ②実施事業（案）について

(2) 北谷町コミュニティバス検討調査について

- ①北谷町コミュニティバスの利用状況等について（報告）
- ②令和2年度コミュニティバス実証運行計画（案）について

10 会議資料

(1) 次第

(2) 北谷町地域公共交通網形成計画【素案】【資料1】

(3) 北谷町コミュニティバス本格運行検討調査【資料2】

11 会議内容

議長：	1. 開会 みなさん、おはようございます。2020年、年も明け2月の初め、大変お忙しい中このように会議に参加いただき、ありがとうございます。今年、年明け早々、豚コレラの発生や現在世間を騒がせているコロナウィルスの問題、みなさまその対応等々で大変お忙しいと思いますが、ご参加くださり、ありがとうございます。本日、北谷町地域公共交通網形成計画及びコミュニティバスの検討調査、2つの議題に関して審議をお願いしたいと思っておりますので、ご進行の程、ご協力をお願いしたいと思います。
議長：	議事に入る前に、本日の会議録署名委員を仲宗根委員をお願いしたいと思います。ご承認よろしく申し上げます。 委員～異議なし～
議長：	2. 議題 それでは、議題（1）について、説明をお願いします。
事務局：	議題（1）-①地域公共交通網形成計画（素案）について及び議題（1）-②実施事業（案）について説明
委員：	11ページの公共交通の現状で、各社ダイヤ変更などを行っているの、いつ時点でのデータなのか日付を記載した方が良いでしょう。19ページの空港リムジンバ

- 事務局： スは現在沖縄バスが単独で運行しているので修正してほしい。
- 事務局： ご指摘の箇所に関して、修正します。
- 委員： 通勤通学の時間帯に公共交通サービスはあるのか、観光客が北谷町からライカムへ行く手段があるのか、運転をしない高齢者がどの移動手段を選択しているのかを調べ、それぞれに対応する公共交通はどうするのかを整理する必要がある。そうしなくては平均値的な議論となってしまう、それでは意味がない。今年度、沖縄県教育庁が高校生の通学に関して調査をされている。どういう集計を行っているかは不明だが、県からデータを頂戴すると良い。また、介護保険に関するデータから通院の実態を分析できる。そういったデータをうまく活用することで、どういう人にどの公共交通サービスを提供すべきなのか。そして目標採算率は3割とする。そのようなまとめ方であれば、施策につなげやすいかと思う。
- 事務局： ご意見を踏まえて検討する。
- 委員： 朝方は通勤通学の方向けにコミュニティバスを路線バスにつなぎ、夕方以降は観光客をターゲットにコミュニティバスを利用してもらおう。そうすれば、これまでドライバーをしていた方の飲食分、消費額が上がると思う。1つの公共交通サービスが時間帯や曜日でも目的を変化できると思う。
- 事務局： 同じ路線で曜日や時間帯でルートを変更すると町民間で混乱が生じるデメリットがある。情報発信をうまく行い混乱が起きない工夫が必要。
- 委員： 路線バスでも同じ車両で系統番号を変更して運行している。スクールバスを通勤や通院に対して利用可にしている箇所もある。うまく運行させるにはコミュニケーションが必要。
- 議長： 今回の意見を事務局で検討する。新たな切り口であり、経費も削減できるかもしれない。
- 委員： 21頁の海上交通に関して、利用客数や客層、観光客または県民の利用が多いのか、町民の割合はどうか、通勤で利用する方はいるのか。詳細が分かれば今回の計画に入れ込めるだろう。
- 事務局： また、自動走行カートの実証実験や空港リムジンバスの活用もあると思う。それぞれの実態や課題を出していただければ、今後の参考になる。
- 事務局： それらの利用実態調査は実施していない。
- 委員： 財政不足を民間から補うと記載すれば、民間が参入しやすい。使いたい会社があるかもしれない。
- 事務局： 宮城地区や砂辺地区に駐車場がなく、飲食店利用客が駐車禁止の罰金を払って大変だったと話を聞く。
- 事務局： 沖縄市同様、バス内に広告を入れる案を検討したが、ここには記載していない。
- 委員： 計画に盛り込むと企業側がイメージしやすいかと思う。
- 委員： 社会福祉協議会からの回答は切実な声だと思う。割引チケットの販売などでコミュニティバスの利用客数向上につながればと思う。
- 事務局： 待ち時間やルートは議論している。利用者は自分にとって一番いいものを要望するが、税金で提供しているため、広く利用してもらえるようにする。

- 委員： 大きなマンションが 2 つ建設予定で今後人口増加が見込まれるが推計に加えてはどうか。
- 事務局： 人口は町全体の将来人口ビジョンとして推計している。北谷町は 2 年ほど前から人口減少傾向にある。マンションが満室状態にも関わらず、数値上は人口が伸びていない。
北谷町は開発が進んでいるが人口は伸びていない。その原因が何かはわからない。
- 委員： 民泊などの宿泊施設が多いのかと思う。
- 委員： 49 頁のアンケートに関して、交通弱者の側面から町老連などにアンケートを実施してほしい。
- 事務局： 老人会には検討会などでアンケートを実施した。アンケートに関する記載方法を見直します。
- 委員： 実施したアンケートに関しては要望などを記載した方が良い。
- 委員： 25 頁の鉄軌道に関する計画書が古い。既にルートなど構想が進んでいるため、それに対する北谷町の構想を記述した方が良い。平成 31 年度に県が基幹バス構想を実施しており、それを含めた町の交通全体を踏まえなくては我々町の計画とならないのではないかと思う。
- 議長： 基幹バスなどの広域的な他市町村との関わりをどのようにするのが、この計画の大きな目的だと思う。それを踏まえて記述の補完やコメントをした方が良い。
- 委員： 北谷町には海上交通や陸上交通等の多様な交通機関があり、人口や密度を考えると、交通基本計画があってもいいのではないか。全国的にみてもボリュームがあるため、次年度以降を見据えて考えてみてはどうか。
- 委員： 鉄軌道の話もあり、それを呼び込むような交通網形成計画を考えてもいいのではないか。
- 議長： 大変貴重な意見で、検討は進めているのだが、今回の計画としては 8 つの交通機関をいかに連結させて町民がストレスフリーで利用できるかを考えるものだと思う。指摘を受け、今後、調整・検討していく必要がある。
- 委員： 71 頁の北谷町コミュニティバス利用者アンケート調査の実施時期が令和 8 年度までとなっているが、実証実験は令和 3 年度までだったかと思う。期間を伸ばすということか？
- 事務局： 実証実験は令和 3 年度まで。その後、本格運行に移るかを検討する。アンケートは令和 2 年度及び 3 年度に実施する。記述を修正する。
- 委員： 北谷町のマスタープランでバス路線網の再編とあるが、どう再編するのか。
また、交通結節点の整備はコミュニティバスだけなのか、路線バスを含めた想定なのか。
- 事務局： バス路線網の整備について、本計画で踏み込むつもりはなかった。既存の交通網とどのように連携させるか。今後、交通結節点での議論の中でその内容が出てくる可能性はある。
- 事務局： 市レベルの公共交通網形成計画では路線バスの再編が出てくるが、本町では様々な交通機関が利用できる中、それらをうまく活用して町民がスト

レスフリーに広域アクセスできるかを議論していた。

事務局： 最初に取り組むのはコミュニティバスのバス停の整備。本格運行に際しては、路線バスと共用しているバス停は事業者と協力を進めていく。

委員： 国道 58 号線などの路線バスの整備拡充も念頭に置いてほしい。

事務局： 南桑江が返還された後に交通結節点を整備する目的で、土地の先行取得を始めている。美浜の駐車場との結節、海上交通やレンタカーから他の公共交通手段への変換点として基地跡地利用を考えている。

委員： バス網を再編するか否かは別として、「バス網再編」という言葉は入れた方がよい。どういうまちづくりを行っていくか、それに対してどのように公共交通サービスを提供するか、結果として路線の検討はコミュニティバスだけになってもいいが、検討しないというのは違うだろう。

また、21 世紀ビジョンに関して、北谷町は交通結節点になる意思を表明した方がよい。庁内や委員会で話をし、県や総合事務局に話をした方がよい。

交通弱者への話が後半で消えてしまっているように感じる。病院との連携や学校行事の際の手段として活用してもらおう等、検討できるだろう。

海上交通と小型モビリティに関して、この 2 つは乗ること自体が観光となる。今は移動することにだけ着眼しているが、移動自体も観光になっている。

議長： 結節点に対する町の意見というのは、庁内で早めに決定していく必要がある。

また、乗ること自体が観光になるという視点はなかった。それについても議論をする必要がある。

事務局： 公共交通の再編については広い視野で見進めていく。

国道 58 号線側に交通結節点を作りたいという意思の元、先行取得を進めている。県の振興計画に合わせていきたい。

子どもたちへのレクチャーは大事であるため、イベントを活用した子ども向けの交通機関の乗り方講座等、検討していく。

また、移動が観光になるという視点も踏まえて計画を考えていく。

議長： バス路線網の再編は庁内でも議論があった。記載に関しては検討を進めてください。

議長： 地域公共交通網形成計画については、以上で承認として良いか。

委員～異議なし～

議長： いただいた意見を踏まえ、事務局は修正等の対応をお願いします。

事務局： 承知しました。

事務局： 議題（2）-①北谷町コミュニティバスの利用状況等について（報告）及び議題（2）-②令和 2 年度コミュニティバス実証運行計画（案）について説明

委員： バス利用の頻度に関して、ポイントカードを発行すると高頻度で利用する人がどのくらいいるのかが分かる。10 個スタンプが貯まると 1 回乗車無料など。低頻度に関しては分からない。

初回の会議において、高齢者の集まりの開始・終了時間に合わせてダイヤを組むとっていたがそのようにしているのか？

事務局：	午前 10 時の開始時間に合わせて作成している。しかし、地域によってはどうしても合わない場所がある。
委員：	その方々の利用率はどうか？
事務局：	その結果は出していない。
委員：	高齢者は集合時間よりも早く集まる。開始時間に合わせたコミュニティバスで行くと席がないと言われる。対応いただいているが、利用者のニーズとマッチしていない。これに関しては町老連がコミュニティバス乗車を奨励していただけるとありがたい。
委員：	ダイヤはいつ変更する想定なのか。
委員：	令和 2 年度の中旬か下旬になると思う。半年程度は記録を取りたい。
委員：	朝方はスクールバスの顔で、夕方は西海岸のホテルから飲食店に向かうなどのチャレンジの話をしてもいいと思う。費用削減だけでなく、需要喚起を検討してもいいのではないか。高齢者の利用頻度はあまり高くないが、中高生は通学で毎日利用する。ターゲットがどこになるのか検討する。
委員：	事務局に 1 日乗り放題券を検討してはどうかと意見していた。色々な観光地を回る際に何度も乗降を繰り返しては高くつくため、乗り放題券を導入すれば観光客の利用増加につながると思う。また、ポイントカードも併せて検討してほしい。
委員：	当初から南北と東西を分けて運行するべきと意見しており、近いのが B 案。もう少しコンパクトにして本数を増やすと利用客数が増えるのではないか。
事務局：	B 案に関して、今まで西から東へ横断していたものを西と東に分けて、接続するところを設け、便数を増やすことを目的とした。西海岸は渋滞にはまる可能性があり、ダイヤが乱れる。便数を 6 便から 9 便に増やすことも検討しているが、経費における人件費の割合が高く、運転手の拘束時間を短くしないと便数を増やすことは厳しい。
議長：	時間に合わせた運行とルートに合わせた提案を検討する必要があると思う。乗車時間が長いという意見もある。財源が持つのかというものもある。抜本的な新案については 9 月中旬頃に出す。
委員：	A・B・C 案の乗車時間と運行距離を記載してほしい。
事務局：	それに関しては 26 頁に記載している。
委員：	比較しやすいように一覧表を分かりやすくしてほしい。
委員：	乗客がどこで乗ってどこで降りたかのデータはあるのか？
事務局：	そのデータはない。
事務局：	今後も持続的な運行を目指して検討していく。財源的な問題もあり課題も多いが検討・修正をしていく。
	3. その他
議長：	事務局より、何かあるか。
事務局：	スケジュールに関して、次回開催は 3 月後半以降になると思う。
委員：	4. 閉会
	以上で、第 10 回 北谷町地域公共交通会議を終了とします。本日は貴

重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。

以上